

# 令和3年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 花尾 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

#### 教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

#### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

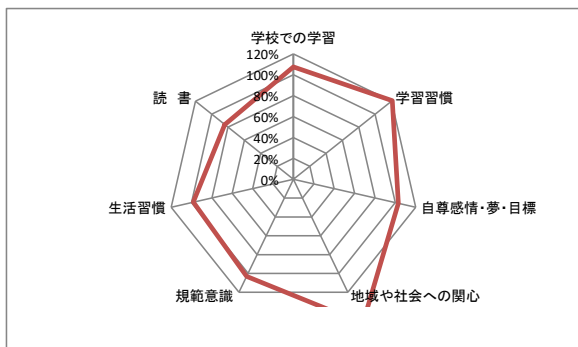
#### (1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての問題で全国平均正答率を上回っている。</li> <li>思考力, 判断力, 表現力等の読むことの問題で, 全国平均正答率を上回っているが, 他の領域に比べると正答率は低い。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	文の中における主語と述語との関係を捉える問題が, 特に全国平均に比べて正答率が高い。	
	努力が必要な問題	目的を意識して, 中心となる語や文を見付けて要約する問題は, 全国平均を上回っているが, 正答率は低い。	
算数	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての問題で全国平均正答率を上回っている。</li> <li>図形領域は全国平均正答率を上回っているが, 他の領域に比べると低い。</li> <li>記述形式の問題が全国平均正答率を上回っているが, 他の形式に比べると低い。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で, 場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し, 計算をする問題は, 全国平均よりも正答率が大きく上回っている。	
	努力が必要な問題	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く問題の正答率が少し低いが, 全国平均の正答率よりも上回っている。	

### 4. 学校での学習活動, 家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や社会への関心が高い児童が非常に多く, 地域の特色を生かした学習の成果が表れている。</li> <li>学習習慣が身に付いており, 計画的を立てて学習に取り組み, 1時間以上学習している児童が全国平均を上回っている。</li> <li>自尊感情は, 全国平均より高いが, 夢や目標については, 全国平均を下回っている。キャリア教育の充実をさらに図っていく。</li> <li>読書については, 本を読む児童は増えてきたが, 読書の時間は全国平均を下回っている。今後も本に親しむ取り組みを継続していく。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった, 課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

・学校での学習においては, ほとんどの項目で全国平均を上回っており, 授業においては, 継続して話す活動と書く活動をおこなっていく。特にめあてとめは自分の言葉で書くようにしていく。基礎, 基本の学力の定着を図るための放課後補充学習も継続する。読書に関しては, 月曜日の朝読や休み時間の図書室開放・読み聞かせなどの読書活動を継続して行い, 本に親

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

携帯・スマホ等の使い方について家庭での約束が守れていないことや1日当たりのゲームをする時間が, 全国平均より長いこと等の課題が見付かった。学校においてのリテラシー教育の充実や保護者への注意喚起を小中連携して継続して行っていく。さらに, 小中連携して, ノーゲーム・ノーテレビ・読書の日の推奨を通信等で引き続き周知していく。